

全て原案のとおり可決!!

6月18日から6月25日まで第2回定例会が開かれ、副町長の選任、教育委員会委員の任命1件、人権擁護委員の推薦3件、不動産の処分1件、条例の一部改正7件、専決処分5件、補正予算5件が提出され、全て原案のとおり同意・承認・可決しました。

また、選挙管理委員会委員・同補充員の選挙が行われ、それぞれ4名選ばれました。

一般質問は7議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。



こんな質疑を行いました

第2回定例会

●副町長の選任同意

小早川幸信氏（三佐）の選任に同意しました。（任期4年）
（賛成全員）

●教育委員会委員の任命同意

林千栄氏（下田原）の任命に同意しました。（任期4年）
（賛成全員）

●人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

西玲子氏（佐井）
山本富康氏（船津）
藤田福代氏（川原河）の推薦に同意しました。（賛成全員）

●選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

次の方が選ばれました。（任期4年）
【委員】

中畑昌昭氏（江川）
古田誠氏（寒川）
佐々木幸生氏
（高津尾）

【補充員】

井領研二氏（和佐）
垣内茂夫氏（平川）
橋本富生氏（船津）
浅間俊幸氏（熊野川）
八田節子氏（小熊）

●不動産の処分について

美山地区にある譲渡型若者定住促進住宅の土地及び家屋を、現在の居住者に売却するものです。（賛成全員）

問

買受人は外国籍とのことであるが、制限やチェックはどのようなものか。

答

もともとは日本国籍で出生後に渡米された。今回の不動産処分に関する規定は特に設けていない。

●手数料徴収条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、所要の改正を行うものです。

地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードを発行するものと明確化され、手数料の徴収事務について、機構から市町村長に委託することができると規定され、町での規定が不要となったためです。（賛成9名）

問

委託された町は、再発 hands 手数料の管理と会計処理はどうするか。

答

歳計外現金として受け入れ、件数報告に基づき、機構から届いた請求分を町の歳計外会計から支払うことになる。

●条例等の一部改正

地方税法等の一部改正により、所要の改正

を行うものです。

主な内容は、住民税の住宅借入金等特別税額控除の拡充と延長、固定資産税の令和3年基準年度評価替えに伴う措置、軽自動車税の環境性能割の税率区分・種別割のグリーン化特例の見直し等です。（賛成全員）

問

地価上昇の場合、税額増加を1年猶予することだが、該当するような場所はあるのか。

答

令和2年度から令和3年度にかけて、評価額が上昇となる場所はない。

問

住民税における扶養親族の規定で扶養親族が16歳以下と明記されるが、具体的な説明を。また、なぜ3年後からの適用となるのか。

答

個人住民税の均等割及び所得税の非課税限度額の算定基礎と

なる扶養親族について、「年齢16歳未満及び控除対象扶養親族に限る」との文言となる。

所得税では同じく令和6年度からの適用するとのことで改正が行われていて、改正のタイミングを合わせるということである。

●職員の給与に関する条例及び国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症対策特別措置法を引用して、新型コロナウイルス感染症の定義づけを行うものです。
(賛成全員)

●国民健康保険条例の一部改正

コロナ禍による減免措置の延長及び新型コロナウイルス感染症の定義づけを行うものです。
(賛成全員)

問 減免措置の延長の申請件数について、

持続化給付金の支給対象から見て少ないと感じるが、周知方法や制度が原因か。

答 所得がそこまで落ちていなかったのではないか。これは、持続化給付金のように一時的に収入が下がった方が対象になるのではなく、国保は税の通知を出す7月時点では、当年予想の中でわかっている実績は大体半年分であり、それを前年1年分と比較するという基準の違いによるものだ。

●介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による、第1号被保険者に対する減免措置を令和3年度も延長するものです。
(賛成全員)

●廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

燃えない複雑ごみ及び小型プラスチックごみの30リットルサイズの小袋を新たに導入することに伴い、一般廃棄物の処理手数料に追加するものです。
(賛成全員)

問 現時点での対象件数は。
答 令和2年度は2件減免している。



●令和2年度一般会計補正予算(第12号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ1億7817万円を減額し、予算総額をそれぞれ108億703万6千円とするものです。(賛成全員)

●令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ2753万9千円を減額し、予算総額14億4509万5千円とするものです。
(賛成全員)

●令和2年度笠松農用水及び公共用水管理運営特別会計補正予算(第1号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ157万8千円とするものです。
(賛成全員)

問 町が単独で上乗せ措置をした持続化支援金の受給者については把握できているのか。
答 全体で296件。制度としては前年特定期の50%減が要件で、収入として含まれることから、事業を継続する上での役割りは果たした。

●令和2年度一般会計補正予算(第12号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ1億7817万円を減額し、予算総額をそれぞれ108億703万6千円とするものです。(賛成全員)

●令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ2753万9千円を減額し、予算総額14億4509万5千円とするものです。
(賛成全員)

●令和2年度笠松農用水及び公共用水管理運営特別会計補正予算(第1号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ157万8千円とするものです。
(賛成全員)

問 町内小・中学校でのタブレットの配備状況は。
答 児童・生徒全員に配備している。

問 町が単独で上乗せ措置をした持続化支援金の受給者については把握できているのか。
答 全体で296件。制度としては前年特定期の50%減が要件で、収入として含まれることから、事業を継続する上での役割りは果たした。

問 町内小・中学校でのタブレットの配備状況は。
答 児童・生徒全員に配備している。

問 ひだか病院の負担金の返還について説明を。
答 新型コロナウイルス

問 25件の予定のところ、19件であった。
答 25件の予定のところ、19件であった。

問 若者定住の新築住宅への支援実績の減額はなぜか。
答 25件の予定のところ、19件であった。

問 防災対策基金に1億8千万を積み立てる理由は。
答 防災行政無線は整備以来十数年経過し

問 町内小・中学校でのタブレットの配備状況は。
答 児童・生徒全員に配備している。

ルスのために患者数が激減し、資金繰りのために4545万円を負担金として一旦納入したが、のちに更なる病床確保のための緊急支援として、国から補助金が出たため全額戻入があった。

問 町が単独で上乗せ措置をした持続化支援金の受給者については把握できているのか。
答 全体で296件。制度としては前年特定期の50%減が要件で、収入として含まれることから、事業を継続する上での役割りは果たした。

問 町内小・中学校でのタブレットの配備状況は。
答 児童・生徒全員に配備している。

問 ひだか病院の負担金の返還について説明を。
答 新型コロナウイルス

問 25件の予定のところ、19件であった。
答 25件の予定のところ、19件であった。

問 若者定住の新築住宅への支援実績の減額はなぜか。
答 25件の予定のところ、19件であった。

問 防災対策基金に1億8千万を積み立てる理由は。
答 防災行政無線は整備以来十数年経過し

●令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ300万円を減額し、予算総額2億9103万円とするものです。(賛成全員)

●令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第4号・専決処分)

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出予算からそれぞれ1288万9千円を減額し、予算総額3億2462万2千円とするものです。(賛成全員)

●令和3年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算にそれぞれ2億4802万6千円を追加し、予算総額をそれぞれ88億1802万6千円とするも

のです。

主な内容として、子育て支援商品券発行関連、抗原検査キット等購入費、飲食業等事業継続支援金、合併浄化槽ブローワ更新補助金、水道事業会計負担金、川辺西小トイレ洋式化工事等を計上したものです。(賛成9名)

問 防犯カメラの設置場所は。また、どのようなシステムになっているのか。

答 他市町との境界、幹線道路沿いの5カ所を考えている。システムは、何かあった時に検証できるものを導入する予定にしている。

問 新型コロナウイルスに対する抗原検査キットを4000セットを購入する。その使い方。

答 抗原検査キットも様々なものがあり、もう少し精査して購入をする。安心を確保す



問 地域貢献プロジェクト事業での家庭用LEDと発電機の購入補助について説明を。

答 家庭用LED購入については補助率2分の1、上限額は1人10万円である。発電機の購入については補助率3分の1、上限額は1人5万円である。

電気使用量の削減や災害時の停電対策の補助事業である。

問 新型コロナウイルスの傷病見舞金の対象者は。

答 新型コロナウイルスに感染し、収入が減少した方で、傷病手当の支給を受けることのできない全ての方を対象にする。

問 子育て世帯生活支援特別給付金は、何世帯を予定しているのか。

答 37世帯、約100名の児童を予定している。

問 合併浄化槽ブロー更新補助事業の補助率はどのように設定されているのか。

答 ブロー更新のみを対象とし、経費の2分の1、上限額は2万円、150基を予定している。

問 水土里情報システム導入の内容は。

答 県の土地改良事業団体連合会が管理、運用しているシステムを導入し、農地情報だけでなく、水路や道路の情報も載せることができる。また、字切り図のシステムにも関連しており、災害申請の作成、農業関連業務の効率化が図れる。

問 農業経営パワーアップ事業補助金の内容は。

答 今回、ブロッコリーの移植機、イチゴ底面給水マット、自動灌水タイマーの設備に要する費用である。

問 畜産施設衛生管理強化支援事業補助金の内容は。

答 鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫予防のために、畜産業での衛生管理や省力化を図るため支援する。今回、鶏舎内の気温上昇を防ぐためのミスト装置導入に補助するものである。

問 町単独の補助事業で期限が切れるものは今議会で継続するのか。内容が変わったものがあるのか。

答 6月議会前の予算査定時に検証した。特に内容的に変わったものはない。

問 紀伊半島大水害10年追悼式典を通じて水害への予防対策をアピールできるものを考えてはどうか。

答 コロナ禍でなければ一斉に防災訓練として、各地区ごとでの実施も検討したが、今回は追悼式典とした。

問 新型コロナウイルスの臨時交付金事業について、職員から支援への意見はどんなものが出されたのか。

答 検査キットが一番多かった。携帯用の消毒液の配布、二酸化炭素濃度計の購入助成、事業所等に感染対策の備品補助、サーマルカ

メラ、空気清浄機などの購入補助などがあった。その他生活支援、経済対策、文化支援などが出された。

問 飲食業等事業継続支援金は、県の支援金制度への上乗せするものか。申請方法はどうか。

答 対象は県の支援金の交付決定があった事業者となる。7月1日から申請を受け付ける。県の交付決定の写しを付けて申請してもらう。

問 ワクチン接種業務で、職員が疲労している。対応はどうするのか。

答 集団接種は週4日で行っている。保健師では2、3回に1回の出役。保健福祉課の一般事務では3回に1回の出役。それ以外の職員では7、8回に1回の出役の状況だ。8月いっぱいまでこの

状態が続く。

9月以降は、集団接種と個別接種の併用となる。集団接種の回数が減るので、職員の負担は軽減される。

問 学校図書館振興委託金の内容は。

答 文科省が県へ委託し、県から日高川町へ再委託された。学校図書館を使って何ができるか、学校司書の活用計画を中心に、学校図書館の振興を図るのが目的だ。

大学の教授を招いて講義を受けたり、先進地を視察する費用をおいた。

問 川辺西小学校トイレ洋式化工事の費用、他の学校の取替の計画はどうするのか。

答 川辺西小学校のトイレは、校舎で10ブース、体育館で2ブースあり、全部で12ブースある。

洋式に替えると仕切



トイレ改修が始まる川辺西小学校

りのやり替え、床仕上げなどで1ブース当たり400万円以内でできる。

他の学校の改修計画については、来年度県へ2小学校を要望している。

問 コスモエコパークからのふるさと納税寄附金は、企業版ふるさと納税でないのなぜか。

新たに増設計画が審

●令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ150万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ14億4852万8千円とするものです。川上診療所特別会計への繰入金を増額するものです。(賛成全員)

●令和3年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ279万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ9947万9千円とするものです。

人事異動に伴う人件費の調整や再任用職員に係る人件費の計上及び在宅で酸素を必要とする対象患者が増えたことにより、増額するものです。(賛成全員)

●令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ604万1千円を追加し、予算総額をそれぞれ3億4560万1千円とするものです。飲食店等の集落排水に係る使用料の減免対応を令和3年度末まで延長するため一般会計から繰り入れし、また人事異動による人件費の調整に伴い、増額するものです。(賛成全員)

●令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)
水道料金の基本料金を減免対応を令和3年度末まで延長することに伴う調整及び人事異動による人件費の調整を行うものです。(賛成全員)

●令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ150万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ14億4852万8千円とするものです。川上診療所特別会計への繰入金を増額するものです。(賛成全員)

査中なのに寄附とは、変な憶測を呼ぶのではないか。
答 会社の意向で一般寄附となっている。既に広川町、有田川町も含めて頂いている。今、中紀第二ウインドファームが審査中だが、風力の許可は最終国が出すものだ。特に地元の住民の反対もない。その意見を町は尊重している。

